

難民映画祭について CONCEPT


難民映画祭公式SNSもチェック！

紛争や迫害で家を追われた人の数は、1億1,000万人—日本に暮らす私たちがほぼ一人残らず家を追われてしまう、それほどの規模で、今この瞬間も増え続けています。あまりにも大きな数字の中には、家族を大切に思い、ささやかな幸せを願う、私たちと何ら変わらない一人ひとりです。ある日突然「難民」と呼ばれるようになった人たちにも、かけがえのない人生があることを知ってほしい。映画を通じて、日本各地に支援の輪を広げたい。そんな思いから、2006年に「難民映画祭」は始まりました。困難を生き抜く人間の力強さ、そして希望を伝える珠玉の作品を、オンライン配信と劇場上映のハイブリッドでお届けいたします。一人でも多くの難民が、難民でなくなる日を願って。

鑑賞方法 HOW TO PARTICIPATE

10月12日から受付開始

まずは難民映画祭公式サイトにアクセス！



右のQRコードまたは「難民映画祭」で検索

鑑賞したい作品の申込みボタンからチケット販売サイト「Peatix」にてお申込みください

オンラインで鑑賞する > | オンラインで鑑賞する > | 劇場で鑑賞する >

オンライン鑑賞

登録アドレスにお送りする鑑賞用URLからご鑑賞ください。

劇場上映

当日劇場スタッフにチケット画面をご提示ください。

参加費 PARTICIPATION FEE

本映画祭は、企業・団体・個人の皆様のご寄付やご協力によって運営されていますので、寄付つき鑑賞にご協力いただければ幸いです。将来を担う若年層の皆さんが参加しやすいように、無料鑑賞の選択肢を設けております。(11/23にカナダ大使館で開催される上映は、参加費はなく、無料鑑賞のみとなります)。

1作品ごとに鑑賞
(オンライン・劇場)

寄付つき鑑賞
(1,000円) または 無料鑑賞

6作品まとめて鑑賞
(オンライン)

寄付つき鑑賞
(3,000円) または 無料鑑賞

※上記寄付は匿名寄付として、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)の難民援助活動に役立てられます。
 ※匿名寄付に対する個人情報保持しないため、国連UNHCR協会からの個別の領収証の発行はありませんのでご了承ください。
 ※オンライン鑑賞へのお申込みは、日本在住の方に限ります。

特別協賛




協賛









後援

カナダ大使館、一般財団法人自治体国際化協会

字幕制作協力

日本映像翻訳アカデミー株式会社

プロジェクト協力: オクノテ、シダックス株式会社、株式会社ナカノ、Peatix Japan 株式会社、株式会社フェイス (五十音順)

難民映画祭 PARTNERS

難民映画祭の趣旨に賛同し、学校が主催者となって上映会を開催する取り組み「学校パートナーズ」がスタートしたのは2015年。取り組みは全国の学校に拡大し、その枠は今では企業・団体・自治体などにも広がっています。国連UNHCR協会は、上映作品のラインナップや、パートナーズのロゴ提供などを通じて上映会をサポートします。これまでにのべ170のパートナーズによって開催された上映イベントには、2万人を超える人たちが参加しました。ぜひ、難民映画祭パートナーズとして、皆さんの学校や地元で上映イベントを開催してみませんか？



すべての難民が難民でなくなるその日まで

紛争や迫害である日突然故郷を追われた人々。UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)は、難民となった人々の命を守り、将来生活を再建できる日まで寄り添い続けます。国連UNHCR協会は、UNHCRの日本における公式支援窓口として、UNHCRの活動を支えるための広報・募金活動を実施しています。あなたのご支援は、厳しい避難生活を支え、難民の生きる希望になります。※ご寄付は寄付金控除(税制上の優遇措置)の対象になります。https://www.japanforunhcr.org/



ご寄付のお申込み・資料請求・問い合わせはこちらから **0120-540-732** 通話料無料 (平日10時~19時)



難民映画祭

REFUGEE FILM FESTIVAL

オンライン開催 **2023.11.6** [月] >> **11.30** [木]

劇場開催[東京] **2023.11.6** [月] **11.23** [木・祝] **11.25** [土]

寄付つき鑑賞も！

鑑賞無料(要申込)



全国どこでも鑑賞可能な
オンライン配信と劇場の
ハイブリッド開催！

主催



難民を守る。難民を支える。
国連UNHCR協会

協力



The UN Refugee Agency

パートナー



難民映画祭 検索 **10月12日から受付開始**



日本初公開 5 作品を含む珠玉の 6 作品

オンライン・劇場で 1 作品から鑑賞いただけます。お申込み方法は裏面へ



日本初公開

目 作品情報

ドキュメンタリー / 2022年 / 99分 / 英語・スペイン語(日本語・英語字幕)

2023年WGA賞(スクリーン)
ドキュメンタリー脚本部門ノミネート

第18回難民映画祭オープニング上映作品

ビバ・マエストロ！ 指揮者ドゥダメルの挑戦

¡Viva Maestro!

響け、希望の交響曲

ベネズエラ出身の指揮者グスターボ・ドゥダメルは、ロサンゼルス・フィルハーモニックなどの名門交響楽団を率いて、「奇才」の名をほしいままにしていた。本作は2017年、ベネズエラの政治的・経済的な争いにより、ドゥダメルが計画していた同国最高峰の青少年オーケストラ、シモン・ポリバル交響楽団のツアーが中止されることから始まる。ドゥダメルはベネズエラを去り、オーケストラのツアーも中止となり、ポリバルの若いメンバーはベネズエラの街頭で何百万人ものデモ隊に加わることになる。しかし、ドゥダメルは音楽家たちが演奏できるよう闘い続け、国際的なコンサートを開催した。

🎬 劇場上映 **11.6[月] 18:00**
TOHOシネマズ六本木ヒルズ(東京都港区)



日本初公開

目 作品情報

ドキュメンタリー / 2022年 / 83分 / 英語、アラビア語、ディンカ語(日本語・英語字幕)

パリゾン国際映画祭 2022年パノラマ観客賞ノミネート
 サンフランシスコ国際映画祭 2022年最優秀長編ドキュメンタリー映画賞
 アフリカン・ムービー・アカデミー賞 最優秀ドキュメンタリー賞

南スーダンで生きる ～ある家族の物語～

No Simple Way Home

平和を望む思いと葛藤

東アフリカで、レベッカ・ニャンデン・デ・マビオールは、南スーダンの母として知られている。夫は故ジョン・ガラン・デ・マビオール。2011年の独立以降も、南スーダンは内戦に明け暮れてきたが、脆弱な和平合意によって、国の不安定な状況に対して何かできる可能性が出てきた。ニャンデンの娘であるアクオルとニャンクイルは、避難先で生まれ育った自分たちが南スーダン人と呼ばれることの意味を理解するのに苦労する。アクオルは、カメラの向こう側から母と妹を追うことを決意。この作品の核には、家族と国を調和させようとする3人の女性の葛藤を描いた世代を超えた対話がある。

🎬 劇場上映 **11.25[土] 13:00**
シダックスカルチャーホール(東京都渋谷区)



日本初公開

目 作品情報

ドキュメンタリー / 2022年 / 75分 / フランス語(日本語・英語字幕)

心の涙をことばにして ～今日を生きる子どもたち～

Unspoken Tears (Trauma Through Words)

トラウマを超えて— 難民の子どもたちへの希望の道

ケベックには、言葉にできない恐怖を体験した子どもたちがいる。戦争や暴力から逃れてきた難民である彼らは、通常の生活に適応しなければならない。一度は自分の存在意義を見失った子どもたちが、再び意味を見出すにはどうしたらいいのか。それぞれの事情を抱えた子どもたちは、どのように学校生活に溶け込めばいいのか。紛争に関連するトラウマを専門とする心理学者ガリン・ババジアン・ゾラビアンは、かつて経験したアルメニア人虐殺とレバノン内戦の記憶を背負い、ケベック州の学校の教師たちに、教室にやってくる難民の心理社会的問題に対処するためのトレーニングを行っている。

🎬 劇場上映 **11.23[木・祝] 13:00**
カナダ大使館 オスカー・ピーターソン シアター(東京都港区)



日本初公開

目 作品情報

ドキュメンタリー / 2023年 / 61分 / 英語(日本語字幕)

マインド・ゲーム ～自分の道信じて～

THE MIND GAME

命がけの旅路に続く新たな「ゲーム」

2021年の上映作品「シャドー・ゲーム ～生死をかけた挑戦～」の続編。タリバンに父親を殺されたサジド・カーン・ナシリ(通称SK)は15歳のとき、単身アフガニスタンを出発。苦難に満ちた2年間の旅を、スマホのカメラで記録した。一人旅の未成年者が西ヨーロッパで保護を求める命がけの旅を、彼らは「ゲーム」と呼ぶ。撮影した映像や、映像作家へのメッセージで、彼は自分の歩みを記録する。SKは、ヨーロッパに行けば、学校に通い、新生活を始められると信じていたが、庇護を求めてベルギーに到着してからも、数か月間にわたる「マインド・ゲーム」に耐える日々が続く。

🎬 劇場上映 **11.25[土] 16:00**
シダックスカルチャーホール(東京都渋谷区)



日本初公開

目 作品情報

ドキュメンタリー / 2022年 / 90分 / ダリ語(日本語・英語字幕)

サウンドトラック・ケルン
2023年最優秀音楽ドキュメンタリー賞
 ナッシュビル映画祭
2022年最優秀音楽ドキュメンタリー賞

私は歌う ～アフガン女性たちの闘い～

And Still I Sing

女性たちの希望の光に差し込む、タリバンの影

アフガニスタンの大ヒット番組「アフガン・スター」は、アイドル風の歌のコンテストで、13シーズン連続で、女性の優勝者が出たことはなかった。アフガニスタンのポップスターで活動家のアリアナ・サイードが、若手女性歌手ゼフラ・エルハムとサディカ・マダドガルを指導し、女性の権利と女性の社会貢献の価値について、国民的議論を後押しする。衣装の選択や歌の歌詞で殺害予告をされながらも、女性出場者たちは前進していく。しかし、アリアナが全国規模の大規模なポップコンサートを計画しているとき、突然タリバンが政権に復帰し、女性のための20年の進歩が逆転してしまう。

🎬 劇場上映 **11.23[木・祝] 16:30**
カナダ大使館 オスカー・ピーターソン シアター(東京都港区)



目 作品情報

ドキュメンタリー / 2021年 / 90分 / 英語(日本語字幕)

グローバル・シネマ・フィルム・フェスティバル・オブ・ボストン(GCFF)
2022年最優秀映画編集賞
 国際人権映画祭 ジェネーブ国際ドキュメンタリー映画祭
2021年グランプリ
 プリ・ヨーロッパ(Prix Europa)
2021年最優秀ヨーロッパTVドキュメンタリー賞

UNHCR WILL2LIVE Cinema 2021(第16回難民映画祭)上映作品

シャドー・ゲーム～生死をかけた挑戦～

SHADOW GAME

フェンスの向こう側にある希望—若者たちの命がけの旅

紛争で荒廃した国を逃れた10代の若者たちが、保護とより良い生活を求めてヨーロッパの国境を越えようとしている。彼らの危険な旅路は、地雷原、密入国業者、国境警備員などの困難をくぐり抜けながら、数か月から数年にも及ぶ。彼らは、国境を越えることを痛烈な皮肉をこめて「ゲーム」と呼ぶ。ヨーロッパ中にフェンスが設置され、国境を越えて最終目的地に到達することは、かつてないほど困難になっている。彼らは直面する数々の障害を乗り越えられるのか？そして彼らは安住の地を見つけることができるのか？3年にわたって撮影され、また一部は主人公自身によって撮影された渾身のドキュメンタリー。

難民映画祭公式サイトでは予告編を公開中！

